

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1992200137		
法人名	株式会社ビジュアルビジョン		
事業所名	けあビジョンホーム甲州		
所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼3118		
自己評価作成日	令和 5 年 12 月 27 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6年 1月 30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人個人の参加できることを提供し、食事づくり、副食をお皿に盛る。そうじぎをかける。ですりをふく。洗濯物をほす、たたむ。など、こまごまと分けて、入居者さま皆様が活動できるようにしています。天気が良いれば、ドライブに行ったり、散歩にいっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所のケアビジョンは、「社会に貢献した人々に尽くす」という理念のもとに、入居者さまへの尊厳を守り、一緒の家に入らせてもらっている、心を込めてお世話させて頂きます、という気持ちで日々のケアに努めています。満足して、安心して暮らしていただけるように、個々へのサービスを展開しています。特に、入居者さまの出来ることを遣り甲斐に繋げようと、調理や掃除、洗濯への参加など、自立介護に向けた取り組みに力を入れ、入居者様が活動しやすい環境を整えています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **けあビジョンホーム甲州**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との繋がり、交流、必要性を研修時に全職員に伝える事で共有を行っている。地域の行事の参加や、近隣の散歩を通じ顔なじみの関係を築いて行っている。	地域との繋がり、交流、必要性を研修時に全職員に伝える事で共有を行っている。地域の行事の参加や、近隣の散歩を通じ顔なじみの関係を築いて行っている。	「地域の皆様の幸せに貢献したい」を一番の願いに掲げて、「社会に貢献した人々に尽くす」を理念として、朝礼や中礼で共有し合い「ありがとう」の感謝の気持ちをいつも持って、日々のケアに取り組みられています。第二の我が家になるように、真心を込めた接遇を継続しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナで出来ていなかった	コロナで出来ていなかった	コロナ禍前には、近隣の小学校とも交流を考えていましたが、コロナ禍になってしまい実現できずにいます。地域行事に参加したり、散歩中に挨拶を交わすなどして、関係性を徐々に築き、交流を深めていく予定を立てています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ころなの為出来ていなかったが、第5類への以降に伴い地域の行事に参加し意見交換を行うよう努めている。	ころなの為出来ていなかったが、第5類への以降に伴い地域の行事に参加し意見交換を行うよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者主体で、2か月に一度開催し、市役所のかたや、入居者さまのご家族様に参加して頂き、ホーム内を見て頂いている	管理者主体で、2か月に一度開催し、市役所のかたや、入居者さまのご家族様に参加して頂き、ホーム内を見て頂いている	運営推進会議を2ヶ月に1度開催して、事業所内の様子や状況を、市の職員の方々にも実際見て頂いたり、地元区長さんには地域行事の確認を行い、どんど焼きや区全体の避難訓練にも参加するなど、積極的な取り組みを計画されています。ご家族様には、代表者として順次会議に参加して頂くことで、理解を深めて頂けるようアプローチしたりと工夫されています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や、予防接種などの確認等を密に取り関係性を築くよう努めている。	運営推進会議や、予防接種などの確認等を密に取り関係性を築くよう努めている。	運営推進会議開催を始め、定期的な挨拶に向いて市町村との関係構築に努めています。地元のケアマネージャーに事業所のサービス内容をアピールしたり、空き状況や現状を知ってもらうことで、入所希望者斡旋にも協力してもらえるような関係性構築に邁進されています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修を行い、全職員に資料を確認して頂き、周知徹底を行っている。	定期的に研修を行い、全職員に資料を確認して頂き、周知徹底を行っている。	本所で作成されたVTRを見て、定期的に研修し「自分がやられたらどうか」など、現実的に考える機会を設けています。グレーゾーンの多い中、ポータブルトイレの環境状況を身近に考えた時、実際にはどうなのかなど、現実に沿った研修を行っていました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が分かりやすく説明を行っている。不安や疑問点を確認し納得されるまで説明を行っている。	管理者が分かりやすく説明を行っている。不安や疑問点を確認し納得されるまで説明を行っている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **けあビジョンホーム甲州**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族の意見・要望を聞き快適な生活の場を提供できるよう努めている。また、頂いた意見・要望は運営推進会議で報告を行う。	利用者、家族の意見・要望を聞き快適な生活の場を提供できるよう努めている。また、頂いた意見・要望は運営推進会議で報告を行う。	食事の際にむせて、周りの皆さんに不快な思いをさせてしまったと気にしていた利用者さんの思いをくみ取り、どろみ剤を使用したところ、今では居心地よく安心して暮らせています。ご家族や利用者本人の意見を聞き取り、どのようにしたら快適な暮らしを提供できるのか職員全体で周知し、話し合った結果で解決されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回面談を行い職員からの意見・要望を聞き、反映に努めている。	月に1回面談を行い職員からの意見・要望を聞き、反映に努めている。	夜間の尿漏れが心配で眠れなかった利用者さんへの対応について、自室にポータトイレを置くようにしたところ、身近にあるトイレ、いつでも自分のペースで使えるとの安心感から、頻尿はなくなっているようです。職員の一人の気づきから、全体で周知し検討した結果、より良いケア繋げ、良好な事業所運営となっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1回の面談を行い不満・希望を聞き取り働きやすい環境・向上心が持てる職場に出来るよう努めている。	月1回の面談を行い不満・希望を聞き取り働きやすい環境・向上心が持てる職場に出来るよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修参加、日々の業務の中で苦手分野を克服できるようOJTを付け指導にあたっている。	月1回の研修参加、日々の業務の中で苦手分野を克服できるようOJTを付け指導にあたっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国の社内での、研修や委員会、全体中礼に参加していただき、サービスも向上につとめている。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者、ケアマネジャーがご家族様からききとりをし、全職員におろし、声掛け傾聴を行い、情報収集をし共有することにより関係性を作り、安心感の確保につなげている。	管理者、ケアマネジャーがご家族様からききとりをし、全職員におろし、声掛け傾聴を行い、情報収集をし共有することにより関係性を作り、安心感の確保につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、ケアマネジャーがご家族様からききとりをし、全職員におろし、声掛け傾聴を行い、情報収集をし共有することにより関係性を作り、安心感の確保につなげている。	管理者、ケアマネジャーがご家族様からききとりをし、全職員におろし、声掛け傾聴を行い、情報収集をし共有することにより関係性を作り、安心感の確保につなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時説明で、他のサービスも利用が対応できる旨を伝え、その人に適したサービスの提供に努めている。	入居時説明で、他のサービスも利用が対応できる旨を伝え、その人に適したサービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理、清掃、洗濯物を一緒に行う、一緒にお茶を飲む等行い関係性を築いている。	調理、清掃を一緒に行う、一緒にお茶を飲む等行い関係性を築いている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **けあビジョンホーム甲州**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	密何かあればすぐに電話連絡し、情報共有を行い、お 願いしたり、お願いされたりしている。	密に情報共有を行い、双方が協力できる関係性を築 いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人、場所を大切にし関係が途絶える事ない よう努めている。	馴染みの人、場所を大切にし関係が途絶える事ない よう努めている。	ご家族の面会の際には、ご家族の美容院に連れ出して もらったり、ハーブ園や近くの公園にドライブしたりなど、 馴染みの場所に連れだしてもらっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	テーブルを一つにつなげたり、はなしたりと、入居者様 がお互いに声を掛けやすいように動かしています。	レクリエーション、体操、行事等の提供を行う事により 支えあう関係が築けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	連絡が来た際には全職員が快く対応をさせて頂いて いる。	連絡が来た際には全職員が快く対応をさせて頂いて いる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	ケアマネジャーがご家族様に連絡し、意向を聞き、職 員にも話を聞き、ご本人様主体に考えている。	可能な限りケアプランに落とし実行している。	ご家族やご本人からの聞き取り、ケアマネジャーの介 護計画を基に、事業所内で出来ることを見極め、職員 全体で周知して自宅での暮らしに近いものを提供でき るように取り組まれています。個別担当制になっており、 好みの衣類やおむつ、新聞など日用品の嗜好なども 入居時に聞き取って対応されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	多職種、ご家族より情報収集を行い把握するよう努め ている。	多職種、ご家族より情報収集を行い把握するよう努め ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	ご家族より情報収集を行い、なるべく声掛けをし、把握 するよう努めている。	多職種、ご家族より情報収集を行い把握するよう努め ている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ケアマネジャーがご家族様、看護師、職員、本人を含 めて担当者会議を行いケアプランの作成を行っている。 。	多職種からの情報収集、ご家族、職員、本人を含めて 担当者会議を行いケアプランの作成を行っている。	月に1度のケアカンファレンス時に、ケアマネジャーや 看護師にも参加してもらい、職員全体で会議にのぞみ、 日頃の情報を伝えて今後のケアに繋げています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	細かく記録に残すことにより、情報を共有しプランの見 直しに活かしている。	細かく記録に残すことにより、情報を共有しプランの見 直しに活かしている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **けあビジョンホーム甲州**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様と電話連絡したりし、家族様が希望されること、歯科受診のときは、車椅子を使用したいと言われさせていただいている方もいますし、家が遠いので、こちらが月1回の病院受診に言っている方もおられます。	多職種と連携し柔軟な支援、サービスが出来るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	多職種と連携し柔軟な支援、サービスが出来るよう努めている。	多職種と連携し柔軟な支援、サービスが出来るよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族の意向を聞き、かかりつけ医師の指示を受け、適性の支援に努めている。	ご本人及びご家族の意向を聞き、かかりつけ医師の指示を受け、適性の支援に努めている。	かかりつけ医への通院希望を受け入れ、利用者やご家族の意向に沿った医療を展開しています。常勤に看護師を配置し、医師の往診も月に2回行うなど、緊急時にも適切な医療が受けられる事業所運営に力を入れています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご本人及びご家族の意向を聞き、看護師の指示を受け、適性の支援に努めている。	ご本人及びご家族の意向を聞き、看護師の指示を受け、適性の支援に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	看護師にサマリーを書いてもらいSWIをお願いし、CMが病院側と連絡を取りあっている。	出来ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。	まだ終末期を迎えた方がいないが、研修は行っている。	看取り研修を行っていますが、まだ事例はなく、今後、利用者やご家族のその時々意向に沿った対応が出来るように学び、多職種の専門職の方にも助言を受ける等、日頃からの関係性を築かれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師を講師に全職員に定期的に研修を行っている。	看護師を講師に全職員に定期的に研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練時の時に近隣者への応援要請の依頼をしています。定期的な避難訓練を行っている。	防災訓練時の時に近隣者への応援要請の依頼をしています。定期的な避難訓練を行っている。	年に2回の防災訓練を行い、水害は問題ない地域な為、特に夜間時の火災を想定した避難訓練を行っています。区長や地元消防署の方からも参加して頂き、今後の協力体制を強化していく予定です。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。	年2回、全国のグループホームの方々が集まり管理者がzoomで参加して研修を受けて、部下の職員に研修をします。	本社で作成されたVTRで、尊厳とプライバシーについて学んでいます。実際に保護者と関わる中で、「夜間、隣の部屋の方がトイレに行く音が気になる」との話を受け、ご本人の眠れない原因との関連もわかり、その後の適切なケアに繋がっています。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **けあビジョンホーム甲州**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様が家族様に電話をかけたいといわれれば、ご家族様の了解を得ている方には、すぐに電話をかけておはなしをしていただいている。	ご本人様が家族様に電話をかけたいといわれれば、ご家族様の了解を得ている方には、すぐに電話をかけておはなしをしていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴をしたくない、散歩に行きたくない日は、ゆつくりとすごしてもらい、散歩に行きもっと歩く?と聞いて散歩のコースをきめたり、入浴したいといわれれば、入浴していただいている。	入浴をしたくない、散歩に行きたくない日は、ゆつくりとすごしてもらい、散歩に行きもっと歩く?と聞いて散歩のコースをきめたり、入浴したいといわれれば、入浴していただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の更衣、入浴の際、ご本人に選んで頂いている。	起床時の更衣、入浴の際、ご本人に選んで頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホットプレートを使用して、テーブル上で料理をしたり、食の細かい方は、何だったら召し上がられるのかを観察して、提供している。料理も出来る方と一緒に作り、お皿にもっていただいたり、洗い物かたづけも入渠者様と一緒にしている。	ホットプレートを使用して、テーブル上で料理をしたり、食の細かい方は、何だったら召し上がられるのかを観察して、提供している。料理も出来る方と一緒に作り、お皿にもっていただいたり、洗い物かたづけも入渠者様と一緒にしている。	献立表に基づき3食手作り料理を提供して、利用者の皆さんと一緒に取り組む時間を楽しんでいます。ホットプレートで焼きそばを作って楽しんだり、片付けの茶碗拭きを手伝ってもらったり、普段の掃除機かけや手すり拭きなど、皆さんの出来ることを行って頂いています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録をつけて、食事摂取量や水分摂取量を確認し、声掛けをし水分制限のあるかたや、水分の取れない方をきをつけている。	介護記録をつけて、食事摂取量や水分摂取量を確認し、声掛けをし水分制限のあるかたや、水分の取れない方をきをつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、口腔ケア後一人一人職員が確認を行っている。	食後、口腔ケア後一人一人職員が確認を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時に誘導を行い、オムツOになるよう取り組んでいる。	定時に誘導を行い、オムツOになるよう取り組んでいる。	失禁が多くても、ぎりぎりまで見守る対応を行い、ご本人の恥ずかしい思いをくみ取る中で、定時排泄に繋がっています。現在は、おむつ使用者はいませんので、引き続き、個々の排泄パターンを読み取り、自立に向けた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、豆乳を飲んで頂いたり、体操、散歩を行っている。入浴時に、腹部のマッサージをしたりしている。	牛乳、豆乳を飲んで頂いたり、体操、散歩を行っている。入浴時に、腹部のマッサージをしたりしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人にあった希望やタイミングで入浴を行っている。病院受診から戻られた時は、入浴を希望されるご家族様もいます。	一人一人にあった希望やタイミングで入浴を行っている。病院受診から戻られた時は、入浴を希望されるご家族様もいます。	入浴時の1対1の対応が、職員とのゆとり対応に繋げ、個々の入浴パターンやタイミングを大切に、入浴剤を使ったり、翌日に替えてみたり、無理をしない入浴支援を行っています。通院後の入浴はご家族の意向もあるので、可能な限り実施できるように努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	シーツを週1回洗濯し、自分でエアコンの調整が出来ない方には、エアコンの調整をしている。	シーツを週1回洗濯し、自分でエアコンの調整が出来ない方には、エアコンの調整をしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 けあビジョンホーム甲州

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師さんが配薬時に説明をきき、こちらからも状況を説明し、共有している。連絡ノートで職員さんは情報共有している。	出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	元看護師さんには、看護師さんだからどうしたらいい?と聞いてみたり、ブドウ農家さんには、ブドウ畑について聞いてみたりしている。	出来ている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近くをさんぽしたり、富士山が見えるところまでドライブにいたり、バラ園にいたりしている。	出来ている。	自宅で毎日行っていた散歩も、ここでも毎日実施できるように、職員の勤務時間にも配慮し、可能な時間帯を決めて毎日実施しています。散歩コースでは顔なじみの方もできて、自宅と同じように散歩ができていと喜んでます。個々のニーズに応えたり、ホームで富士山が見える所までドライブしたり、季節を感じて頂けるような場所を探して出かけたりもしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ころなの為出来ていなかったが、ドライブに出かけた時に少し買い物をしていきたい。	出来ている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人携帯をもたれているかたもありますが、電話を掛けたい方はかけていただいていますし、お手紙やプレゼントが届いたりしています。	出来ている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来ている。	出来ている。	今風の新しい建物は、ブラウン調で落ち着いた雰囲気を作り、掃除の行き届いた廊下やリビングは、広々として、窓から見える風景はのどかです。清潔で明るいリビングは個々の居心地の良い空間になっており、ポイントごとに植物が置かれ、個々のニーズであるパソコンとつながれたテレビには、美空ひばりの歌声が流れ、居心地の良い共有空間が作られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの席を気の合った人同士にしたり、ソファーに仲良しさんが3人で座られていたりされている。	出来ている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居されるときに、今のお部屋にあるものを持参してくださいと、おねがいはしている。	出来ている。	「自宅のお部屋にある物を持ち込んで下さい」と、入居前のご家族の方にお話しています。分骨された骨壺を持ち込む方、遺影を持ち込む方、毎朝お水を供えている方など、思い思いの物を持ち込み、安心出来る自分の部屋作りを行っています。足元に不安がある方は、色々な物を持ち込まず、すっきりした部屋作りを工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレにトイレと張り紙をしてわかりやすいようにし、自分で行けるようにしている	出来ている。		